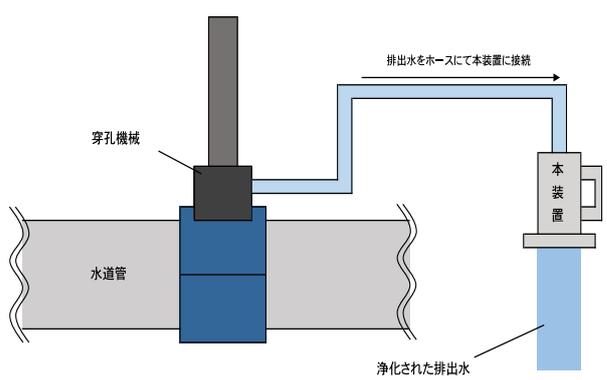


# 新技術・新工法

|         |                            |  |
|---------|----------------------------|--|
| 登録番号    | 22037                      |  |
| 新技術名    | 枝管設置時の排水浄化装置「洗管クン」         |  |
| 副題      | 給水管穿孔工事時に発生する排水を簡便に浄化する装置  |  |
| 従来技術名   | 送水管工事の際に発生する洗管の排水を布地等によりろ過 |  |
| 活用区分    | —                          |  |
| 新技術等の区分 | 製品                         |  |
| 新技術等の分野 | 環境                         |  |
| NETIS番号 | QS - 220008 - A            |  |
| 問い合わせ先  | 熊管工株式会社<br>096-321-6961    |  |

|         |  |
|---------|--|
| 概要      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来技術と比べて、異物に対する捕獲効率が高まり、異物による詰まりも抑制される。(処理なしの場合と比較し、SS値では、従来技術での除去率が2.47%だったものを90.12%へ向上。鉄の含有量では、従来技術での除去率が11.32%だったものを58.49%へ向上)</li> <li>・従来工法においては、穿孔により発生した切りくず、切断片等は管外への排出のみをおこなっており、大きなくず以外は、排水と共に環境中へ廃棄されている。</li> <li>・新技術の導入により、「穿孔により発生した切りくず、切断片等」を簡易に十分に除去することが可能となり、環境中への廃棄がなくなることで、環境負荷の低減に繋がる。</li> </ul> |
| 特徴      | <p>現状、送水管工事(枝管設置時等)の際に発生する洗管の排水については、有効な浄化手法が確立されていない。新技術により、工事により発生する排水を、確実に一定の基準値以下に浄化することを可能とする。また、装置は小型であり、持ち運びが容易で、使用も簡便である。</p>  |
| 適用可能な箇所 | <p>1自然条件<br/>0℃以上の環境下にて使用</p> <p>2現場条件<br/>作業スペース 3m×3m程度必要</p> <p>3技術提供可能地域<br/>全国</p> <p>4関係法令等<br/>特になし</p>   |
| 施工単位等   | <p>新技術 63,714円/回</p> <p>従来技術 61,764円/回</p>   |